

参加校各位

第40回全国高等学校空手道選抜大会
実行委員会

チーム関係者（保護者・観客等を含む）に熱発者が出た場合、対応方法は以下の通りとさせていただきます。各校ご精読いただいた上で本大会に臨んでいただきますよう、お願い申し上げます。

熱発者（該当チーム）への対応について

【大原則】 体温が 37.5 度を超える場合は入場を認めません。

1 受付時に判明した場合

1) 該当者は速やかにシェルターへ移動していただきます。チームで来場している（同行している）場合、該当者以外のメンバーは地下駐車場の指定場所での待機となります。

2) 5分後に非接触型の検温器で測定し、37.5度未満に下がっていた場合は入場を認めます。下がらない場合は再度5分後に検温致します。

3) 2回の再検温で下がらなかった場合、接触型の検温器を用いて測定し、下がっていた場合は入場を認めます。検温器はその都度アルコール消毒を致します。

4) 上記の手順を経ても体温の下降が認められなかった場合、残念ですが該当者の入場は認められません。また、該当者がチームで参加している場合は、チームの行動履歴を実行委員会で確認し、他のメンバーが参加できるかどうかを判断させていただきます。来場者全体の生命の安全確保という観点から、たとえわずかな超過数値であっても厳格に対処致しますので、ご理解のほどお願い申し上げます。

5) 該当者は速やかに医師の診断を受けていただき、結果を大会実行委員会（080-1116-7853）までご連絡ください。該当者以外の入館が許可された場合、チーム関係者の行動については、チームの責任において適切にご対応願います。

2 競技中（観戦中）に 37.5 度以上の発熱が判明した場合

該当者は速やかに退館していただきます。その他の対応については、状況を見て実行委員会よりご指示申し上げます場合もありますので、ご了解ください。

3 宿舎において熱発が判明した場合

前日または前々日に発熱があった場合、監督は実行委員会（080-1116-7853）まで速やかにご連絡ください。その際、前日までの該当者の行動履歴（チームであれば他のメンバーの行動履歴）も細かく報告してください。状況によって、実行委員会からご指示申し上げます場合がありますが、その際は指示に従っていただくことをご了解ください。なお、チーム独自の判断で熱発者（体調不良者）を宿舎に残して来場する行為は、感染を拡大させてしまう危険があります。厳に慎んでいただきますよう、お願い申し上げます。